

2023年10月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年9月13日

上場会社名 アートグリーン株式会社 上場取引所 名  
 コード番号 3419 URL <http://www.artgreen.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田中 豊  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 芝田 新一郎 (TEL) 03-6823-5926  
 四半期報告書提出予定日 2023年9月14日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年10月期第3四半期の連結業績(2022年11月1日～2023年7月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年10月期第3四半期	1,886	8.2	40	△33.6	37	△42.7	19	△49.1
2022年10月期第3四半期	1,744	11.4	60	46.6	66	28.3	39	28.2

(注) 包括利益 2023年10月期第3四半期 20百万円(△47.9%) 2022年10月期第3四半期 38百万円(25.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年10月期第3四半期	17.23	16.91
2022年10月期第3四半期	34.42	33.26

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年10月期第3四半期	1,289	527	40.9
2022年10月期	1,297	501	38.7

(参考) 自己資本 2023年10月期第3四半期 527百万円 2022年10月期 501百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年10月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年10月期	—	0.00	—	—	—
2023年10月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年10月期の連結業績予想(2022年11月1日～2023年10月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,428	5.8	70	19.9	68	0.7	40	1.2	35.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

会計方針の変更に関する注記

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年10月期3Q	1,171,600株	2022年10月期	1,136,800株
② 期末自己株式数	2023年10月期3Q	242株	2022年10月期	242株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年10月期3Q	1,156,159株	2022年10月期3Q	1,135,758株

発行済株式数に関する注記

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。将来予測に関するいかなる内容についても、その確実性を保証するものではありません。なお、業績予想に関する事項は、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の分類が感染症法上5類に移行したことにともない行動制限が緩和され、経済活動は正常化に向かって緩やかに持ち直しの動きが見られました。一方でウクライナ情勢の長期化等による原材料やエネルギー価格の高騰、また人件費や物流コストの上昇などにより日本でもインフレ基調が見られており、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

花き業界においては、東京都中央卸売市場の市場統計情報によると、2023年5月から2023年7月までの、らん鉢取扱金額は987百万円（前年同期比1.6%減）、ファレノプシス類（胡蝶蘭鉢）の取扱金額は942百万円（前年同期比2.5%減）と、いずれも前年同期比微減傾向で推移しております。

このような事業環境の中、フラワービジネス支援事業は、新型コロナウイルス感染症の分類移行にともない行動制限が緩和されはじめたことから、主力である法人贈答用胡蝶蘭の新規顧客開拓及び既存顧客への対面での営業活動等、販売促進に注力いたしました。

ナーセリー支援事業は、引き続き新規顧客開拓に注力し、オリジナル園芸資材の販売促進に注力いたしました。

フューネラル事業におきましては、既存顧客のニーズに合わせた商品及びサービスの提案と、新規顧客開拓に注力いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は1,886,929千円（前年同期比8.2%増）、営業利益40,399千円（前年同期比33.6%減）、経常利益37,996千円（前年同期比42.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益19,918千円（前年同期比49.1%減）となりました。

なお、当社グループの事業セグメントは単一セグメントであるため、セグメント情報は記載せず、主要な事業について記載しております。

#### (フラワービジネス支援事業)

フラワービジネス支援事業につきましては、新型コロナウイルス感染症の分類移行にともない行動制限が緩和されはじめたことから、主力である法人贈答用胡蝶蘭の新規顧客開拓及び既存顧客への営業活動等、コロナ禍以前のような対面での正常な動きに戻ってきたこともあり、順調に進める事ができました。また、ブライダル関連も同様に回復基調で推移しことにより、売上高は堅調に推移いたしました。

以上の結果、フラワービジネス支援事業の売上高は1,297,770千円（前年同期比9.1%増）となりました。

#### (ナーセリー支援事業)

ナーセリー支援事業につきましては、引き続き新規顧客開拓と当社オリジナル園芸資材の販売強化に注力しました。また、園芸資材の原材料やエネルギー価格の高騰等によるコストの上昇が続くことから、各種販売単価の値上げ等も慎重に進めました。

以上の結果、ナーセリー支援事業の売上高は445,015千円（前年同期比5.0%増）となりました。

#### (フューネラル事業)

フューネラル事業につきましては、既存顧客への販売強化と新規顧客開拓に注力いたしました。

葬儀業界の環境としましては、大都市圏を中心とした葬儀単価の減少傾向が変わらずに続いておりますが、葬儀件数は増加傾向にあります。しかしながら全国的に進む家族葬や密葬、葬儀の小型化による葬祭規模の縮小化が続いており、今後も大都市圏を中心に葬儀規模は縮小傾向で進んでいくと考えられます。

そのような中、引き続き顧客のニーズに合わせた商品の提案とサービス提供に注力するとともに、新規顧客開拓

を順調に進めることができたことから、売上高は堅調に推移いたしました。

以上の結果、フューネラル事業の売上高は144,143千円（前年同期比10.1%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### (総資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は1,289,147千円となり、前連結会計年度末と比べ8,557千円減少しました。

流動資産は1,125,380千円となり、前連結会計年度末と比べ1,319千円減少しました。その主な要因は、受取手形及び売掛金が23,517千円増加したものの、現金及び預金が12,970千円、商品及び製品が2,851千円、仕掛品が5,379千円それぞれ減少し、貸倒引当金が4,058千円増加したことによるものであります。

固定資産は163,767千円となり、前連結会計年度末と比べ7,238千円減少しました。その主な要因は、のれんが3,431千円増加した一方で、無形固定資産のその他に含まれておりますソフトウェアが5,831千円減少し、貸倒引当金が2,970千円増加したことによるものであります。

### (負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は761,885千円となり、前連結会計年度末と比べ34,023千円減少しました。

流動負債は405,660千円となり、前連結会計年度末と比べ21,019千円減少しました。その主な要因は、1年内返済予定の長期借入金が11,136千円増加した一方で、未払法人税等が13,913千円、賞与引当金が15,288千円それぞれ減少したことによるものであります。

固定負債は356,225千円となり、前連結会計年度末に比べ13,003千円減少しました。その主な要因は、長期借入金が12,223千円減少したことによるものであります。

### (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は527,262千円となり、前連結会計年度末と比べ25,466千円増加しました。その主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益19,918千円を計上したことによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年10月期の業績予想につきましては、2022年12月13日に公表いたしました通期の連結業績予想から、修正は行っておりません。

なお、業績予想は現時点において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって予測数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年10月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年7月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	670,506	657,535
受取手形及び売掛金	276,539	300,056
商品及び製品	37,637	34,785
仕掛品	122,955	117,575
原材料及び貯蔵品	401	401
その他	38,782	39,206
貸倒引当金	△20,123	△24,182
流動資産合計	1,126,699	1,125,380
固定資産		
有形固定資産	16,753	14,080
無形固定資産		
のれん	19,259	22,690
その他	38,453	32,363
無形固定資産合計	57,712	55,053
投資その他の資産		
その他	97,152	98,216
貸倒引当金	△613	△3,584
投資その他の資産合計	96,539	94,632
固定資産合計	171,005	163,767
資産合計	1,297,705	1,289,147
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	89,882	92,449
1年内返済予定の長期借入金	189,833	200,969
未払法人税等	15,421	1,508
賞与引当金	25,950	10,662
株主優待引当金	3,436	—
その他	102,155	100,071
流動負債合計	426,679	405,660
固定負債		
長期借入金	367,329	355,106
その他	1,899	1,119
固定負債合計	369,228	356,225
負債合計	795,908	761,885

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年10月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年7月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	140,395	143,012
資本剰余金	92,380	94,997
利益剰余金	268,280	288,199
自己株式	△465	△465
株主資本合計	500,591	525,743
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,204	1,518
その他の包括利益累計額合計	1,204	1,518
純資産合計	501,796	527,262
負債純資産合計	1,297,705	1,289,147

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2021年11月1日 至2022年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2022年11月1日 至2023年7月31日)
売上高	1,744,213	1,886,929
売上原価	1,007,884	1,075,212
売上総利益	736,329	811,716
販売費及び一般管理費	675,472	771,317
営業利益	60,856	40,399
営業外収益		
受取利息	169	169
受取配当金	61	28
受取助成金	987	711
持分法による投資利益	5,718	—
為替差益	1,057	—
その他	264	517
営業外収益合計	8,257	1,426
営業外費用		
支払利息	1,960	3,028
為替差損	—	774
その他	899	26
営業外費用合計	2,859	3,829
経常利益	66,254	37,996
特別損失		
関係会社株式売却損	3,754	—
固定資産除却損	3,050	1,956
特別損失合計	6,804	1,956
税金等調整前四半期純利益	59,450	36,040
法人税、住民税及び事業税	17,509	9,394
法人税等調整額	2,846	6,727
法人税等合計	20,356	16,122
四半期純利益	39,094	19,918
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	39,094	19,918



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年11月1日 至 2022年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年11月1日 至 2023年7月31日)
四半期純利益	39,094	19,918
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△277	314
その他の包括利益合計	△277	314
四半期包括利益	38,816	20,232
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	38,816	20,232
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

連結子会社の税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。